

学校の働き方改革取組み事例

学校行事の見直し

No.	取組み内容
1	<p>【行事の精選】 ○家庭訪問の希望制、職員会議の削減や学校行事の精選に大胆に取り組んだ。また、学校主催で開催していた行事を学校運営協議会の主催にする等、地域との連携により業務改善につなげている。 児童の教育指導のための業務に専念でき、やりがいにつながるとともに、週休日の勤務等が減少しつつある。</p> <p>○手間と時間をかけてでもしなければならないものと、そうではないものを選別した。平成 29 年度から削減してきたものは以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none">・家庭訪問（1年生は全員、2・3年生は希望者のみ実施）・校内の提出書類や表簿の削減（教員の授業評価、自己研修のまとめの資料提出等）・運動会バザーの廃止・学級旗作成の廃止・PTA組織の改編（委員会数及び人数の削減、学校課題を検討する委員会の新設） <p>○目的に応じた内容かを吟味し、以下のとおり、行事の削減や見直しを行った。</p> <ul style="list-style-type: none">・運動会：ダンス、組立体操等の新たな種目に取り組むのではなく、体育の授業の学びを見せるような種目を実施・学習発表会：発表会から、様々な教科の成果物を数多く展示して保護者に見てもらおう展覧会風に変更して実施・授業参観：分散参観を実施 <p>○朝の会と1時間目の間の時間、昼休みや掃除の移動時間等を少しずつ短縮し、新日課表（1時間目開始 8:20、6時間目終了 15:10、最終下校 15:20）を設定するとともに、月末統計日は5時間授業にして放課後に学級事務等を行う時間を確保した。</p> <p>○学習参観を年7回から年5回に削減した。</p> <p>○朝の活動や清掃時間を削減したほか、教員研修の回数を減らした。</p> <p>○土日に行われる地域行事への参加体制を見直した。</p> <p>○最終退庁時刻を8時に繰り上げたほか、7時退勤を努力目標としている。</p>
2	<p>【体育祭開催会場の変更】 ○体育祭を校外の競技場（屋島陸上競技場）で実施することとした。 校庭整備等に係る教員の負担軽減につながった。</p>

3	<p>【研修の見直し】</p> <p>○研修を企画・運営する研究部の主導により、年間に渡って実施されていた校内研修を選択制にしたり、対象職員を限定したりすることで実施回数を削減している。結果的に、個々の研修の質の向上にもつながっている。</p>
4	<p>【家庭訪問の見直し等】</p> <p>○4月に実施していた家庭訪問を止め、保護者に学校に来てもらい学級単位で生徒の様子を話し合う「スタート懇談会」と担任が家庭の位置や周辺環境を確認する「表札訪問」の実施に変更した。</p> <p>○日課を改善し、秋冬用日課の始業時刻を5分、終業時刻を20分ずつ早めることとした。</p> <p>○夏用標準服とネームの変更により、生徒指導の負担の軽減を図った。 （女子のリボンをなくす、男女のシャツをズボンに入れられない形に変更。名札に学年・学級・校章もあわせて表示することで、学年・学級章等を付けなくてもよいように変更。）</p> <p>○「デジタル採点ソフト」の導入により、採点時間を短縮し、成績処理に関わる教員の負担を軽減した。</p> <p>○不登校生徒への対応にあたっては、校内の教育支援センターの活用、校外にある町の教育支援センターとの連携、SSWの活用等により、チームとして支援することとし、教員の負担軽減を図った。</p> <p>○退職教職員を学校に派遣する「さぬき学びの支援隊」を活用し、外部人材の参画を図ることで、学校現場の負担を軽減した。</p> <p>○生徒が学習や生活の目標を設定し、達成度を自己評価する「キャリア・パスポート」を有効活用することで、通知表の発行回数を従来の3回から、2回に削減した。（当該校は3学期制）</p>